

週報



高鍋ロータリークラブ

会長 岡島 達雄
 副会長 中武泰一郎
 幹事 武末喜久治
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4 ホテル泉屋内
 TEL FAX 0983-21-1636



第1656回 平成22年7月22日プログラム

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX 披露 |
| 2. ロータリーソング
・四つのテスト | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 公式訪問前の
クラブ協議会 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

2730地区ガバナー 伊藤 学而
 中部分区ガバナー補佐 岩切 昇

2730地区テーマ
 クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう
高鍋ロータリークラブテーマ
 品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求に
 こたえよう
 7月の月間テーマ

*本日のゲスト=岩切昇ガバナー補佐・杉尾義秀様
 ・公式訪問前のクラブ協議会
 ・100万ドルBOX

*第1657回 次週例会案内 (7月29日)
 夜間例会 18:30~ 会場; 四季亭
 新年度親睦会 (親睦活動担当)

第1655回 例会内容

■会長の時間

岡島 達雄君

ロータリーソング



ロータリー活動の源泉は、奉仕と親睦にある、といわれます。その関係は、車の両輪でどちらが欠けても成立しないと、いやむし

ろ一階が親睦2階が奉仕の2階建ての馬車である、ともいいます。奉仕と親睦、どちらが優位なのかの議論がロータリー創立後のシカゴで数年間続き、両派の関係が気まづくなりかけた時、印刷業のハリー・ラグルス(1905年)が、諸君、歌を唄おうではないかと提案し、それがきっかけで会がなごんだ、というのがロータリーソングの始まりです。

日本では東京クラブ初期(創立は1920年)の頃、初の外国人会員エドモンド D. パートンが例会で歌うことを奨励し指導したのが最初です。もちろん当初のロータリーソングは英語だったのです。日本語歌ができたのは先週お話しいたしましたよう1935年です。

みなさんご存じのとおりロータリーソングは、定款・規則にのっているものではありません。クラブを柔らかくするものです。何をどう歌ってもよく、また歌わなくてもよいものです。日米では比較的好く歌われると聞いていますが、3年前GSEでジョージア州アトランタ近辺に派遣された時訪れた6つのクラブ例会では歌はありませんでした。

ロータリーソング集は今でも出版され続けていますが、レコードを最初に作成頒布したのは、1928年大阪RCでした。カセット時代もありましたが、今はもっぱらCDが使われています。

高鍋クラブは贅沢にもピアニストの伴奏で歌えますが、増田さんのご都合の悪いときは「ロータリーの友」事務所1994年12月1日発行のCDを使っています。

「CDの指揮者に拍手するソング」 秋山春海 「友」
 2009年12月号

■幹事報告

幹事 武末喜久治君

<文書案内>

*8月の国際ロータリーレート

1ドル=88円



◆出席報告



出席委員長
 図師義孝君

出席状況 (単位: 人、%)

会 員 数	40
出席会員数	38
ホームクラブ出席率	95.00
前々回の修正出席率	97.50

◆クラブ協議会一年間活動計画

○職業奉仕委員会

委員長 永田英徳君



経済の沈滞、病気の氾濫、社会、企業人の倫理観のみだれ。今こそ、ロータリーの思想が必要な時を迎えているのに、会員の減少、新会

員の獲得が困難な時代に差し掛かっています。多くのロータリー会員を増強して、その思想を広く世界に訴えていく必要があるのではないのでしょうか。

企業経営者、専門職に携わる人達の倫理性を高めると同時に、知識経験を深めることが重要であります。そのために、まず、最初に取り組むべきは、ロータリーの設立の目的、動機、歴史、組織、委員会のあり方、等を再度認識することが、ロータリーをより充実したものにすることが大事ではないのでしょうか。

ロータリーがロータリアンの専門職や企業人の仕事に現実的に役に立つものになる必要があると思います。クラブ奉仕委員会は、夜間大学等を通じて、より、実践的に仕事に役に立つ活動を実行し、同時にロータリーについての勉強を、情報委員会を通じて学ぶことで、実践と理論の両方を身につけることができるのではないのでしょうか。従いまして、今年度は、情報委員会との連絡を密にしていきたいと思っております。

○親睦活動委員会

委員長 橋口清和君



小グループ毎の家庭集会を基礎に、年4回の親睦会に繋げて、家族の参加も呼びかけて、パートナーや家族などが楽しく参加できる

機会を広げて品位のある親睦を提供する。そのために、関係委員会との連携をとり、地区大会や各種大会への家族も含めての参加を呼びかけ、国際奉仕委員会との連携で、米沢上杉ロータリークラブへの訪問交流の企画、従来通りの月初めのセレモニーでは、誕生祝い時のパートナーからのメッセージの協力等と、会員、家族の一体感をもたらせるような楽しい企画運営をする。

○新世代委員会

委員長 河原好秋君



次世代を担う青少年の健全育成のため、現状を把握しながらクラブで話し合い、取り組みたい。

フォーラムへの参加。ライラへの参加およびアクト活動への支援。高校出前講座への継続。第4回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会への協力。

○社会奉仕委員会

委員長 石田喜克君



地域を育み、大陸をつなぐ為に、地区テーマ「クラブを活性化し、地域と時代の要請にこたえよう」をクラブ内に充満させる。そして、

地域に存在感を示すことができるクラブとして奉仕活動を実践する。

○新世代委員会

委員長 藤本範行君



ロータリーアクトクラブの会長との意思疎通を密にし、ロータリーアクトクラブの目的・目標を確立する。ロータリーアクトクラブの組織作りと運営を正常化させるための支援をする。

アクトクラブの例会（毎月2週、4週の水曜日）に積極的に出席する。アクトクラブの例会への出席や行事への参加をロータリアンに呼びかける。アクトクラブの役員とよく話し合い、例会のあり方や行事の企画についてアドバイスする。アクトクラブの活動をロータリークラブの例会で積極的に紹介し協力を依頼する。アクトクラブ会員の増強を呼びかけ、勧誘し、会員数20名を目標とする。

○国際奉仕委員会

委員長 桑野倫夫君



在日外国人（ALT）との交流と親睦。世界理解月間の主催。書き損じハガキによる財団への協力。GSE、交換留学生の受け入れへの協力。RI 会長賞へのチャレンジ

○ロータリー財団委員会

委員長 福岡直樹君



ロータリー財団と米山奨学会の使命を会員に理解してもらい、寄付金などのように運用され、社会に貢献するか、機会あるごとに具体的に会員に伝え、基金への協力をお願いする。会長の方針にそって地域の団体の活動に地区補助金を活用して支援する。

年次寄付一人100ドルの達成に向けて努力する。ポールハリスフェロー・マルチプルを呼びかけその誕生に努力する。100万ドル食事と米山ランチを計画的に実施。地区補助金を地域の人道的プロジェクトへ有効利用できるように努力する。GSEに協力する。11月に財団月間の卓話を計画する。

○長期計画委員会

委員長 尾崎敏弘君



当クラブは、奉仕の理想を掲げ活動し続けて35年になる。これまでの活動が地域社会の発展に果たしてきた役割を振り返ってみる良い機会である。

先輩ロータリアンから受け継がれてきた現状を分析し、良いものは更に発展させ、改めるべきは改め、次の世代に引き継いでいくものである。

◆8月のプログラム

- 8月5日（第1658回）ガバナー公式訪問
- 8月12日 休会
- 8月19日（第1659回）会員増強卓話
血圧測定・プログラム委員会
- 8月26日（第1660回）外部卓話＝永井哲雄様

現在のホームページ

岡島会長・武末幹事・桑野君・中武君